

- 豊橋河川事務所、設楽ダム工事事務所、三河港湾事務所、愛知県東三河建設事務所、愛知県三河港務所の共催で三河地区の発注者(国、県、市)、建設業協会員、コンサルタント(中部支部)、を対象にH29. 12. 12(火)に会議を開催した。
  - ・事前登録総数91名(愛知県12名、市町村15名)
- 建設業の生産性向上に向けた中部地整の取り組みや建設ICT普及研究会のメンバーの協力を得て勉強会を実施
  - ・講師: 筒井総括検査官(中部地整)、建設システム、日本キャタピラー、全国圧入協会、ICTアドバイザー 笹尾氏(黒柳建設)



澤頭事務所長より挨拶  
○建設業は地域の守り手として役割が大。  
日頃の努力、地域の安全・安心の確保を担っていただいていることにお礼。  
受発注者間の良好な関係の構築(パートナーシップ)をベースに、本来目的を見失わないようi-Constructionを推進していく。



i-Construction中部  
サポートセンター長  
筒井総括検査官による講義

○3次元にすることで見える化ができ生産性が変わる。  
○岐阜県、三重県の取り組みが進んでおり愛知県も東三河からi-constructionを推進していただきたい。



勉強会の講義



講師との事前調整会議(11/15)